鳥小アップあっぷ通信

No.4

2022.7月号

鳥飼小学校学力向上担当

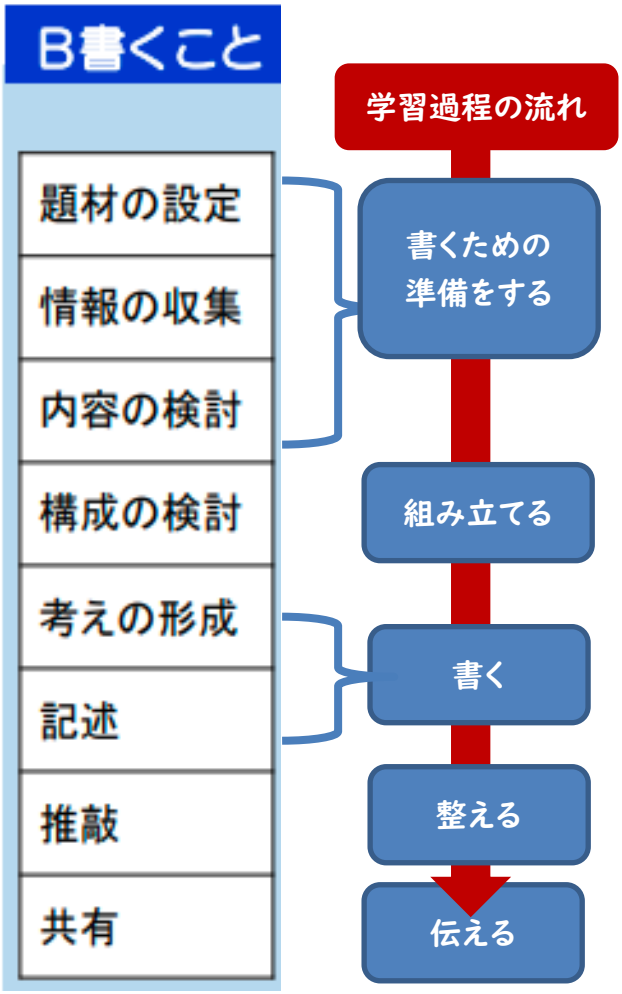
「書く」ってどうしたらいいの？

あと１ヶ月ほどで、１学期が終わります。今回で「みてみて鳥っ子エッセイ」も３回目になりました。子どもたちも、少しずつ作文を書くことに慣れてきたように思います。

ものを「書く」ことは、大人でも難しいです。実際、作文を書くと聞いて「やったぁ～!!」「書きたい!!」となる子どもたちは、ほとんどいません。それは、みんな「何を書いたらいいの？」「どうやって書くの？」と、わからないことが多いからです。いきなり文章は書けません。しっかりと準備をしたり考えたりしてからでないと、人に伝わる文章はなかなか書けないものです。

そこで、本年度からは子どもたちにもわかる言葉で「書くためのプロセス」を示し、いきなり文章を書くのではなく、しっかりと準備をしてから書く活動を行うようにしています。ご家庭でも宿題等で何かを書く際には、是非ご参考にしてください。よろしくお願いいたします。

「書く」ことの学習過程をていねいに踏むとは



文部科学省 HP より

きれいな文章を書くためには、まず、書く内容に沿った材料を集め、そして、構成や展開を考えます。次に、相手に伝わるように書き表し方を工夫しながら書き、書いたら読み返して文や文章を推敲し整えます。つまり、いきなり書き始めるのではなく、書くための準備をていねいに行い、書いた後も、自分の文章を読み返して整えることが大切なのです。

このような文章を書くための基本的な過程を知っていれば、一人で文章を書く機会に遭遇しても、自分の何が足りないのか、どこに戻ればいいのかが明確になります。そこで、発達段階に応じた学習過程を児童と共有しながら授業を進めることは、大切だと感じます。

この一連の流れを，螺旋的・反復的に繰り返しながら「書くこと」を学習し，系統的・段階的に上の学年につながっていくことで、国語の資質・能力の定着が図れるのではないかと、鳥飼小学校では考えています。

※　「ここに示す学習過程は指導の順序性を示すものではないため、必ずしも順番に指導する必要はない。」と、『学習指導要領解説国語編』に示されています。

具体的な子どもの思考のイメージ★

右の写真は、昨年度２年生の学習の際に使用した「書き方マップ」です。この単元では、２年生がマップとたどりながら、ミッションをクリアしていき、初めて、「はじめ」「中」「おわり」で組み立てた３部構成の文章を書きました。

単元末での振り返りにも、「書き方マップの通りにしたら、書きやすくきれいに書けました」や、「最初に組み立てをすることで、書きやすくなるとわかりました」など、「書く学習過程」や「組み立ての大切さ」を実感している振り返りが多かったです。

みてみて♡鳥っ子エッセイ No.3

1年

あさがお かんさつ にっき

いろは あいいろでした。つるがのび くるくるしてたよ。そして ともだちとつるがからまってたよ。

一年生児童

はなのいろや つるのようすを よくみてかくことが できました。

だい名や、はじめ・なか・おわりをしっかりかくことができました。ピアノがうまくできたことがつたわりました。

2年

じょうずにえんそうできた音楽会

6月14日火曜日の6時間目に、体いくかんで、お父さんとお母さんにれんしゅうした音楽を本番で聞いてもらいました。

わたしは、体いくかんで音楽会をすることがはじめてです。だれでもしってそうでショボそうでドキドキしました。ぶたいに立ったら手をふってくれたりどうがをうつしたりしていました。おうえんしてくれているしるしだとわかりました。

わたしはドキドキしてたけど、二年一組も二年二組のみんなもがんばってたからわたしもがんばれました。

次の音楽会もがんばろうと思いました。

二年生児童

音楽会

六月十四日学校の五じかんめ六じかんめ音楽会をしました。

家の人がきてどきどきしました。わたしは、ピアノになりさいしょは、できるかわからなかったです。でもうまくできたからうれしかったです。がっそうのメドレーはおどるポンポコリンでした。ほかの四年生とか六年生たちのがっそうが、すごいなと思いました。先生たちがスマイルのメドレーでがっきをやったのがびっくりしました。

わたしたちも六年生たちみたいになりたいなと思いました。

二年生児童

「中」が上手にかけています。お父さんとお母さんのようすがよくわかって、がんばってえんそうしたのがつたわりました。

3年

はじめての音楽会

今日2時間目に音楽会がありました。やっぱりはじめてだから、きんちょうしました。でも音楽会は、楽しかったです。いちばんはじめ、せんせいたちがみんなにまえにたって、がっきを持って

「なにをするのかな。」

と思ったら急に先生たちががっきをならすからびっくりしました。わたしは、

「えっ、いつ練習したの。」

と、思ってとってもびっくりしました。でもがっそうがとてもよかったです。1年生の「うちゅうじんに会えたらいいな。」と、「ドレミのうた」がとてもうまくてびっくりしました。あと、5年生のうたは、とてもがんばっているし、うますぎて、目がずっとひらいていました。みんなが一生けんめいがんばっていて、どのクラスもいいがっそうでみんなすごいなと思いました。またみんなで楽しい音楽会をしたいです。

三年生児童

びっくりした気持ちがすごく伝わってきました。とくに、目の様子で表現しているところがいいです。

4 年

内容のまとまりごとに段落を分けて書くことができていますね。

音楽会

ぼくは、音楽会でエールを歌い、人生のメリーゴーランドをがっそうしました。

まずは、エールで、今までの中で一番いい感じがしました。ぼくは、自分だけいい感じだと思っていましたが、みんなすごくうまく歌っていてぼくは、(みんなもすごくうまいなあ)と思いました。ぼくは、(この調子だったら本番も完ぺきだ)と思いました。

そして、人生のメリーゴーランドで、がっそうも、完ぺきでした。それで、人生のメリーゴーランドでもみんないきがよくて、木きん、鉄きん、リコーダー、ピアノ、タンバリン、トライアングル、バス、それからぼくが使っていた大太こ全部がよかったです。ピアノがさい初にならすとき、練習よりピアノがうまいと思いました。もちろん、他のがっきを使っている人もすごくうまいと思いました。ぼくは、最高の音楽会だと思いました。

四年生児童

5 年

理由を二つに分けて順序立てて書けているのがとても分かりやすい✨林間学校での経験とクラス目標をつなげて、これからの成長を書けていてすばらしい☺

一番楽しかった林間学校での思い出

私は、林間学校で一番心に残ったことは、まが玉作りです。

理由は、二つあります。まず、一つ目は、まが玉づくりをはじめて作ったので、楽しかったです。

二つ目は、ましかくから丸みたいな形になるまでけずるとは、思わなかったです。

けずっていると、だんだんと完成に近づいてきて、とうとうできたと思ってお手本を見に行ってみました。すると、だいぶできてきました。だけども、似ていないのでもう、ちょっとけずれそうだと思ったので、けずりました。

私は、経験したことで、みんなと自分で、「七転八起」としてもだし、助け合いと、仲間(クラス)を大切にして、仲良くして、みんながこのクラスがいいとおもうクラス(仲間達)にしていきたいです。

五年生児童

6 年

文章構成が考えられており、一年生の時からのあこがれがようやくかなって嬉しい気もちが伝わってきます。

3年ぶりの音楽会

私は、三年ぶりの校内音楽会で、はじめて鉄琴をたたきました。

鉄琴はすごくきれいな音でずっとあこがれていて、一年の時も、二年生、三年生の時もずっとあまり目立たない楽器だったので、みんなが羨ましかったです。それから、四年生になったとき、今年こそは!!と思っていましたが、コロナでなくなってしまって、もうこのままできないんだ。そう思っていました。でも、六年生は出来るという噂をきいて、もうこれしかないと思ったので、六年生で、思いきって手をあげると、ずっとかなわなかった願いがかないました。

それから、音楽会当日の時、少しまちがえてしまいましたが、ずっとやってみたかった鉄琴が出来てよかったなと思いました。

六年生児童